

## 岡田譲治新会長 就任挨拶

このたび、日本監査役協会会長を務めることとなりました岡田譲治です。企業統治の大きな変革期であったこの 3 年間、当協会を率いてこられた広瀬雅行会長の後を受け継ぐこととなりました。監査の重要性がますます高まる中、微力ではございますが当協会の長として全力を尽くしたいと考えております。

私は、三井物産株式会社に入社後、経理・財務畑を歩み、2015 年 6 月に常勤監査役に就任いたしました。同年秋に当協会の副会長を拝命し、前期は会計委員会の委員長も務めさせていただきました。この度会長という大役を仰せつかり、私が適任であるか思い悩むところもありましたが、監査役等の監査品質の向上と当協会の事業の充実に向けて全力を傾ける決意です。

前任の広瀬会長には、平成 26 年 11 月から 3 年にわたって会長として当協会の活動にご尽力いただきました。冒頭申し上げた通り、この 3 年間は我が国企業統治の大変革期でした。その中で会社法の改正やコーポレートガバナンス・コード導入等に対応して、監査基準・監査報告のひな型・実務指針といった多岐にわたる当協会公表物の制・改定に取り組まれるとともに、様々な不祥事が頻発する中で、内部監査部門や会計監査人との連携、さらには三様監査のあり方などについての研究に取り組まれました。また、研修会や実務部会といった監査役等の皆様の実務に役立つ情報提供活動も一層充実しております。近年、会員数や研修会受講者数が増加していますが、協会事業の充実の賜物であることは論を待ちません。これらを実現されました広瀬会長に、心より感謝申し上げたいと存じます。

後任会長として、私は広瀬会長のご業績を引継いで当協会の運営にあたる所存ですが、今後取り組んで参りたいと考えている課題を、2点申し上げます。

1点目は、協会事業の一層の充実です。我が国の企業統治はまだ発展途上と言えると思います。現在、会社法のさらなる改正や会計監査にかかる新たな制度の導入などが議論されていますが、今後の企業統治改革を注視し、監査役等の皆様に適切な情報提供を行っていくことはもちろんのこと、監査等委員会制度や社外取締役との連携など、既に行われた企業統治改革についても実務面のフォローアップを行い、監査役等の皆様の監査活動の充実への支援を図っていきたいと考えています。また、企業統治改革の動きと相俟って、先ほど会員数と研修会受講者数が増加していると申し上げましたが、実務部会や研修会の運営の充実など、この状況に相応しい事業展開をしていく必要があると考えています。

2点目は、協会の発信力の強化です。これまでも、シンポジウムの開催やメディア・投資家との意見交換会の開催など監査役制度や監査役の実務について積極的に情報発信に取り組んできております。引き続きこれらの活動を行うだけでなく、監査役制度と監査役等の実務に対するより一層の理解の促進に向けて、具体的な取組みを検討し、実行して参りたいと考えています。

当協会の事業の充実に向け、誠心誠意取り組んで参る所存です。皆様の積極的なご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

以上